

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393800020
事業所名	グループホーム オーネスト桃花林

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し、回覧板や区長から地域の情報を得て、地域の行事には積極的に参加している。ホーム行事や認知症講座の開催を地域へ発信し、ホームの活動への理解を深めると共に交流に努めている。多彩なボランティアの定期訪問や幼児との交流、中学生の体験学習、ヘルパー実習等の受け入れを行っている。また、散歩や外出時に地域の方と言葉を交わすなど、入居者は地域の一員となっている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 会議は年6回、偶数月に開催している。メンバーは民生委員、上末地区々長、市の職員、地域包括支援センター職員、入居者、家族、施設長、管理者で構成されている。会議ではホームの運営状況や利用状況、入居者の様子、活動などが報告され、質問には丁寧に答え、提案には真摯に取り組み運営に反映させている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市担当窓口には管理者が事務連絡などで訪問した際に情報の交換をしたり、市の介護相談員を受け入れている。地域包括支援センターとは、認知症サポーター養成講座で協働している。区長が市の徘徊ネットワーク副委員長であることから、徘徊模擬捜索訓練で協働したり、職業訓練で実習生を受け入れるなど、行政との連携体制が構築されている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族会を年2回開き、春は認知症の勉強会、秋には収穫祭、法人主催の「桃花林祭」には多くの家族が参加している。交流の機会を利用し、家族の意見の把握に努めている。家族の訪問が多く、気楽に話し合えるよう配慮し、家族からの意見は職員連絡ノートに記載し、情報を共有している。「ふきのとう便り」を年4～5回発行しているが、個別に毎月写真と共に管理者の一言を添えて家族へ送付している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。